

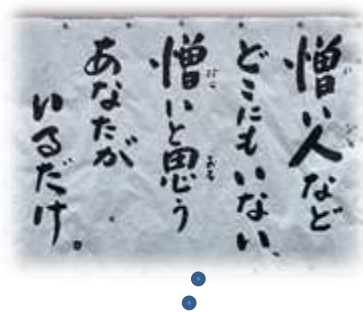
6月30日（日）名言

朝、散歩をしていたら、右のような掲示物を見つけました。本当にその通りだと思いました。私は「人」を「暑さ」に変えて見ました。

憎い暑さなどどこにもいない

憎いと思うあなたがいるだけ

これからの暑さ、この言葉で乗り切りたいと誓いました。



6月29日（土）新聞・旗

校内を巡回しました。主に、掲示物を見るためです。多くのクラスで係の子が作った新聞が貼ってありますが、**六年生**のものはレベルが違います。このクラスの新新聞の更新を楽しみにしています。本日、**最新号**が貼ってあるのを見つけました。誰もが**見たくなる**色、レイアウト、素敵な新聞です。

ある教室には、大きな学級旗がありました。まだ未完成のようです。これもすばらしいものです。クラスの**名札**、黒板に書かれた**目標**、クラスの子の**手形**があります。いつ、どの場面で披露されるのかは不明ですが、学級の**絆を強く**してくれる役割を担っていることでしょう。



6月28日（金）合同・長さ・埃

五年生の算数では「合同」の学習をしていました。**ピッタリ重なる**形のことです。ジャンプの課題で「身の回りの合同を見つけよう」という問題が出ました。子供たちは教室でいろいろと探しました。**名札**、ドリル、教科書などなど**長方形の物**が多い中、ある子が**ハンドソープ**に目をつけました。立体ですが、平面としてとらえるとピッタリ重なりそうです。ジャンプの課題では、このように子供たちが**予想以上の、学習内容を超えた**学びをしてくれます。

一年生の算数でもジャンプ課題で子供たちが躍動して



いました。紙テープである物の長さを写し取り、どちらが長いかを調べる活動ですが、対象を教室内に広めたところから学びが深まりました。黒板の縦の長さや、ドアの横の長さを調べるペアが登場しました。その長さを、全体に伝えるときに、紙テープを広げて「これくらいの長さ」と説明していました。夢中で活動する一年生を見ていて、楽しくなりました。

六年生が家庭科で、学校の汚れを調べていました。廊下の隅、階段の端、壁の上の方などなどに埃を発見しているグループを見かけました。ある子に呼ばれて行ってみると、段差を埋める板を剥がして「ここにはたくさんあるはずだ」と言うのです。確かにたくさんの埃が出てきました。普段掃除をしていて、手をつけていない場所に目をつけたのだそうです。家庭や学校での掃除活動に変化をもたらしてくれる視点を学んでくれたら嬉しいです。



6月27日（木）掃除・自走・模様

掃除を見に行くと、一年生の成長を感じます。黙って自分の役目を張り切って果たしている子が増えているからです。この日も、机の上や床を水拭きしている子がいて、時間いっぱい何度も何度も拭いていました。お手伝いをしていた六年生と「一年生すごいね」「一年生、よく頑張っているね」などと話しました。一年生を見つめている六年生の表情も、日に日に穏やかになっています。

おうぎ学級の算数の授業では、「自走する姿」を様々な場面で見取れました。嬉しくなりました。六年生が活動しているところに行ったら分かった「2080」を、友達に教えている一年生。計算練習で、 $21 - 18 = 3$ という問題をノートに書いた一年生。次々に、自らプリントを引き出しから出して、問題に取り組み続けていた一年生。数の見方を学ぶときに、友達と学び合いを始めた二年生。先生の指示ではなく協働の学びと個別最適な学びが生まれました。そして自らジャンプの課題を作っていました。



アミーゴで染め物体験をした三年生が、誇らしげに自分の作品を見せてくれました。「**どうやって**その模様を作ったのか」を尋ねるのですが、**明確**な答えはあまり返ってきませんでした。子供たち自身も**驚いた**ようなのです。ある子は「線を一本だけにしぼってみた。一本ほりで勝負した」と話してくれました。でも模様は単純ではありません。ある子は「テキトーにやったのに、こんなのができちゃった」と照れも入った自慢をしてくれました。模様も色（濃さ）も**世界に一つ**だけ。大事にするでしょう。



6月26日（水）小中・法律・トマト

小中連絡会、職員が**向原中学校**へ行きました。授業を参観し、分科会ごとに話し合いを行いました。中学生は皆、**張り切って**学習していました。一年生も、小学生だったときは**違う表情**で学んでいると感じました。学習も**難しく**なっています。数学では因数分解。社会では時事問題。英語では英作文。理科の実験、分析。国語では接続語の使い方。小学校で学習したことを**生かしている**と思うのですが、難しい内容に取り組んでいることを改めて感じました。小学校の学習を**日々大事に**しなくてははいけません。



六年生が道徳で、法律の大切さについて考えていました。「**法律はなぜあるのか**」との問いには、「国民の**安全のため**」「みんなの**平和のため**」「**安心・安全のため**」「**安心して生活**できるため」などの意見が発表されました。その中で一人の子が「自分たちが、これを**守っていくためにある**」と発言しました。法律によって守られているという意識よりも、法律を守っていかなければならないという意識が強い発言です。頼もしく感じました。



登校後の**中庭**には、二年生と三年生が集まってきます。ミニトマト、ハウセンカの世話をするためです。ここへ顔を出すと、必ず数人が「こんなに**伸びた**」「〇〇さんのは**大きいよ**」などと教えてくれます。そんな話を三年生から聴いていると、「校長先生見て！」と二年生の子に声をかけられました。「**ミニトマトが2つ**あるんだよ」と教えて



くれました。見ると、赤い実と緑の実が並んでいました。

収穫が近づいているようです。

6月25日（火）お得・愛・強化

五年生の算数では、割合の学習が進んでいます。本日の課題は2つの店の値引きを見て、どちらが「お得か」を考えるもの。もちろんひき算でとらえる子もありますが、多くの子がもとの値段の何倍になっているかで考えました。160円が120円になっていけば、0.75倍になったことになります。200円が160円になれば、0.8倍になっています。この2つの量「何倍か」をどう考えるかが難しいところです。しかし子供たちは学び合って、この難解な世界を理解していったようです。

一年生の道徳で、「お母さんにギュッとされると、どう思う？」と先生が問いました。「うれしい」「好き」に続いて出てきた答えが「愛が交換される」でした。教室の空気が一変するのが分かりました。いきなり「愛」という言葉が出てきたからです。その後の発表は「私も〇〇さんと同じで、愛が交換されると思います」が数人続きました。「弟にギュッとしている」「パパにもギュッとされる」などの日頃の行動も、発表されました。

廊下に出て○付けをしている子がいます。二年生の算数の時間です。教室ではグループでの学び合いが行われています。学び合って解答に自信がある子は、自分で答えを見て○付けをするようです。自信がない子は、先生に丸を付けてもらうようです。○をもらえれば誰でも嬉しいものですが、自分でその確認ができるようになれば「自己強化」は進みます。人の評価を気にせずに、正しい道を進んでいく力が高まるはずです。



6月24日（月）ラン・つぼみ・理由

朝、シャトルランが行われました。体育で記録を残せな

かった子が集まったのです。異学年で行うので、刺激があったようです。さすがに六年生は意地を見せてくれました。どの学年よりも最後まで走り続けていました。意地を見せてくれたのは最高学年だけではありません。先生たちも子供に負けじと走り続けていました。「暑くなる」と予報で伝えられたこの日、気合いの入った走りで校庭の温度もぐーんと上がりました。

一年生がアサガオの観察をしていました。「見て見て」とたくさんの子が絵を見せてくれました。「つぼみが30個あった！」と誇らしげに教えてくれた子もいます。また、「てんとう虫がいた」「クモがいた」と別のことで自慢してくれた子もいます。今年は少し花が咲くのが遅れているようです。一番嬉しい報告は「花が咲いた！」です。その日が来るまで、一年生の張り切ったお世話が続いていきます。

六年生の道徳では「ばかじゃん」と何度も言われた主人公が、相手にその理由を聞くかどうかの話し合いがありました。「聞いてみる」と答えた子の理由としては、「本気かどうか」「なんでそんなこと言うのか」「聞かない」理由で発言されたのは、「理由を聞いたならもっと傷つくかも」「右から左、スルーする」「聞きづらい」などでした。言われて傷つくと考える子もいるし、傷つかないとする子もいる。それぞれの思いを学び合いました。

6月23日（日）環境

近くの図書館に行くと、「地球の環境について考える」コーナーがありました。地球のためにできることがいくつか展示されていました。「ご飯を残さない」「ムダに電気を使わない」などなど、たくさんの取組ができることを改めて考えました。クーラーやシャワーを当たり前のように使いまくっていますが、少し気をつけて使いたいと考えます。



6月22日（土）審査

本日は、修学旅行のしおり全員分に目を通しました。感想と一句を見るためです。全員が修学旅行の句を作ってくれたので、審査をさせてもらいました。審査基準は5つです。①**五七五** ②なるべく**対象**を書かない ③**想像**をめぐらせたい ④その人らしい**表現**がある ★おもしろい（**ユーモア**）。です。最優秀句を一つ、優秀句を6つを、何とか選びました。



6月21日（金）扇検定・卵・願い事

六年生が学び合っていたのは、「扇小検定」です。例えば次の問題、『開校1年目の行事で、本当のことはどれか？』

- ア **運動会**が春と秋にあった
- イ **修学旅行**で北海道に行った
- ウ **宿泊学習**は夏休みに行った
- エ **入学式**を市役所で行った

六年生のこのクラスでは、アとエが多かったです。50年前のことに思いを馳せるのも楽しそうでした。

本日が、二年生のクラスで行っていた**教育実習生**、最後の日でした。五時間目にはお別れ会が行われていました。教師希望者が減っているというニュースを毎年聞きます。学校教育の仕事はブラックだという人もいます。しかし、こんなに**感動**があって、**社会をつくる**実感がある仕事はないと私は思っています。教師になりたいと本校を訪ねてくれた教育実習生には、**素敵な先生**になってもらいたいと切に願うばかりです。

一年生が**七夕飾り**の願い事を書いていました。「〇〇というゲームがほしい」「〇〇がほしい」「〇〇に行きたい」「〇〇につれて行ってほしい」などの**物欲**や、「ピアノが上手になりたい」という**向上心**が多い中、「魔法が使いたい」という**ファンタジー**な願い事もありました。ある子は「**せんそうが** おわってほしい です」と力強い字で書



いていました。私も毎年、世界の平和を祈っています。

6月20日（木）思い出・自転車・割合

おうぎ学級では、修学旅行に行った六年生、引率の先生が**思い出話**を話していました。華厳の滝のこと、日光彫り体験、ホテルでのこと、**雨**だったことなどなどの話を、みんなで聴いていました。ある子が「**ずるい！**ぼくも生きたかった。**みんなで行こう**よ」と言っていました。引率者は、小学生として行ったときにも雨だったと話してくれました。五年生は来年です。**楽しみ**が広がりました。

四年生の交通安全教室は、**自転車の正しい乗り方**を学びました。実際に自転車に乗って、正しく走る体験をしました。みんなが見ている中で、正しく自転車を走らせるのはけっこう**緊張**するようです。正しく止まる、正しく**左右を見る**、正しく**発車**する、正しいところを走る。ゴールした子のほとんどが「緊張した」「**難しかった**」と言っていました。普段あまり意識していないポイントがたくさんあったようです。**安全運転**、お願いします。

五年生の算数は、だいぶ内容が難しくなってきました。割合の学習です。**もとにする量**を1と見たときに、**比べられる量**をいくつと見るか。もとにする量の**何倍**なのかを考えるのが学習です。この時のジャンプ課題は、先生の**50m走のタイム**と自分のタイムを比較して、割合を出すことです。やり方については誰もが同じでもできますが、答えはそれぞれが違います。**答えは一つに決まりません**。**探求**が始まる良い課題だと思います。五年生は果敢に学び合って解決に向かっていました。

6月19日（水）朝食・彫刻・東照宮

二日目、**晴天**。昨日の夕食の時には「しっかり食べましょう」と話をした**食事係**の子が、「**無理せず**食べましょう」と話しました。昨夜の寝不足、本日走る**いろは坂**、暑さな



どを考えての一言だったようです。状況に応じて話ができる子が育っていることを嬉しく思いました。もちろん中には、「はい、3杯目！」と**おかわり**に燃えている子もいました。これはこれで自走する子の姿として、嬉しく感じました。

日光彫りの活動が始まりました。日光市に伝統的に生きている芸術文化です。説明を受けた後に、初めて手にしたであろう**彫刻刀**で作品作りに取り組みました。完成すると、裏に自分の名前や日にちを彫ります。**イニシャル**にしている子が多かったのですが、中には「日光」と漢字を刻んでいる子もいました。「**2024. 6. 19**」を50年目の修学旅行で、多くの子が刻みました。完成後の記念撮影では、寝不足を感じさせない**笑顔**を見せてくれました。

この日のメインでもある東照宮見学。聞いていたよりも人は少なかったのですが、**外国人**の多さには驚きました。ガイドさんの話を聴きながら、**陽明門**、三猿、眠り猫、家康のお墓、**鳴き竜**などなどを見学しました。待たされる時間もありましたが、予定通りにほぼすべてを見学できました。写真等で見ていた子たちからは「思ったよりも**小さかった**」という声がありました。六年生がこの世界遺産に再び訪れるのは、**何年後**になるのでしょうか。



6月18日（火）滝・昼食・買い物

修学旅行初日。**雨の中**をバスが出発しました。天気になりに反比例するように、バスの中の子供たちは**元気**いっぱいでした。最初に着いたのは華嚴の滝。雨はやみません。しかし皮肉にも、中禅寺湖の水量は減っているようで、滝の水はさみしいものでした。それでも子供たちは「**迫力**があった」「こんなチョロチョロは**めったに見られない**ので、かえって良かった」と言ってくれました。

昼食はホテルで食べさせてもらうことになりました。こんな大きなホテルでお弁当を食べることはめったにありません。貴重な体験です。小西ホテルさんには、特別な



対応をしてもらい、本当に感謝です。どこで食べても一緒と言わんばかりに、六年生は楽しそうにいつも通りにぎやかに食事を楽しみました。

ホテルの部屋でゆっくりゆっくり楽しんだ後は、買い物とお風呂。遊んでいても買い物のことはずっと頭にあった子が多かったようです。買った物を見たり、買った相手を聞いたりして分かったのは、家族ファーストだということ。自分のものを買って部屋で遊んだりする子はいませんでした。「お母さんに」「妹に」「おばあちゃんに」と喜びそうな物を選んでいました。



6月17日（月）ゴーヤ・一位・かけ算

四年生が理科でゴーヤの観察をしていました。何かを探しているようです。「ない、ない」という声が聞こえます。「雄花しかない」という声が聞こえたので、合点がいました。「雌花を探す」という課題が出ていたのです。「ない、ない」「雌花がない」「雄花しかない」の声は、どのグループからも聞こえてきました。10分ほど教室にいたのですが、この続きはどうだったのでしょうか。

新体力テスト。四人ずつ走って50m走のタイムを取っています。1, 4コースには六年生、2, 3コースには一年生です。タイムを取っていたのは一年生で、六年生と一緒に走ってあげている伴走者なのでした。ある一年生は、「一位だった！」と大喜びしていました。一緒に走っていた「六年生にも勝った！」と意気揚々と話してくれました。六年生が上手に走ってくれたのです。思いやりの心を感じずにはられません。



五年生が算数で学び合いをしていました。小数のかけ算、わり算、立式がとても難しくなっています。それを手助けしてくれるのが数直線。数直線を正確に書ければ、かけ算の式が導き出せます。 $\square \times 0.9 = 45$ のように、かけ算の途中が分からなければ、わり算で求めればいいだけの話です。学び合いでは、四年生の時にならったことの確認



がありました。既習を生かそうとする子がいると、安心します。

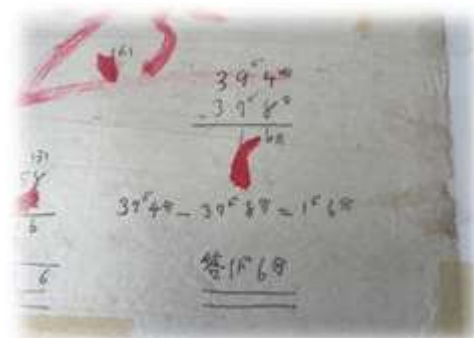
6月16日（日）回想

40年前、毎日のように通った場所を通りました。正確に言うと、ついでに立ち寄りました。まったく変わらず残っている店もあって、感動しました。暑くなければもっと歩いてみたかったのですが、熱中症になりそうだったので、20分ほどでお店に入ってしまった。懐かしくて、懐かしくて、また来てみたくなりました



6月15日（土）テスト

昨日、出張先の学校で、100年前のテストを見せてもらいました。その学校の校長先生の祖母が、小学生の頃に取り組んだものということです。解答用紙に枠などは、ありません。問題も答えも自分で書いています。カタカナで答えるのが基本です。角度や温度の筆算もあります。このテストを大事にとっておいたご両親の愛情に感激してしまいました。



6月14日（金）見送り・反復・量感

一年生が遠足に行く日です。朝のお世話をしてる六年生が、一年担任に「お見送りをしたい」と願い出ていました。遠足出発は8時40分。六年生はこの日、一時間目が水泳です。この時間までいることはできないことが分かり、お見送りは断念しました。その代わりに、遠足へ行く一年生に向けて一人ずつメッセージを送りました。「楽しんできてね」「がんばってね」「いってらっしゃい」「ケンカしないでね」「シーユー」……。一年生も六年生の一言一言に「はい！」と、元気に返事をしていました。



二年生の新体力テストを五年生が手伝いました。反復

横跳びのやり方を教えたり、見本を見せたりするのも五年生です。測定前に、やり方を覚えた、できるようになった二年生がいて、ペアの五年生は大喜びです。「上手！上手！」「おー！！、すごいぞ！」。自分の記録よりも、二年生の記録で一喜一憂する五年生に、思いやりの心を感じました。また、ペアの子が見学になってしまった五年生の落胆ぶりを見て、活動意欲を感じました。

算数の時間、おもしろい場面を見ました。マラソンコースの道のりは2()。()内に長さの単位を入れます。あるグループでは「m」だと考える子に、一生懸命説明をしていました。「2mだとマラソンにならないでしょ」「人間が走るマラソンだよ」「2mだったら、2, 3歩でおわっちゃうでしょ」などと。私もこの学び合いに口を出しました。「アリさんのマラソンだったら、これで(2m)もいいですか？」。

6月13日(木) 誕生日・歌唱・つる

登校してくるある子に、ちょっとしたサプライズがありました。本校で初めて見た場面です。いつもより門の近くに子供が多いと感じてはいたのです。その中のある子の「あっ、〇〇が来た」を口火に、近くの子が「〇〇！、誕生日おめでとう！」と、門に向かって歩いてくる子に声をかけ始めました。門を通り、階段を上った所にも数人がいて「おめでとう！」と言ってます。誕生日を祝ってもらった子は、たくさんの子に抱えられ、たくさんの子から拍手をもらって、この日が始まったのです。

音楽の時間、二人ずつ先生の前に行って指定された曲を歌っていました。テストのようです。歌い終わると先生から評価をしてもらいます。あるコンビが歌い終わると、一人の子が高い評価をもらっていました。「良く声が出るようになったね！感激した」と。クラスの子全員がこれも聴いています。評価をもらえなかった子には、友達からたくさん声が届きました。「〇〇は、もともと上手なんだ



ぞ」「そうそう、〇〇は前から上手だ」などと。とっても良い雰囲気になり、心が温くなりました。

一年生は毎日、朝の支度を教室で終わるとアサガオの世話をしています。アサガオが登場するまでは、真っ先にブランコに集まっていた一年生が懐かしく感じます。この日は、ある子がつるを支柱に巻いていました。巻きなおしていたのかもしれませんが。ていねいにていねいに、愛おしむようにつるを手をしている姿に感動しました。何か声もかけているようでした。「はやく・・・ね」。聞き取れませんでした、妹や弟に話しかけているようでした。



6月12日（水）虹・兄弟・先輩

音楽朝会では、「虹」を合唱しました。今回の主役は三年生。中心に立ち、振りを付けながら元気いっぱいに歌ってくれました。パワーをもらえる合唱でした。その後、ハンドベルを使った合唱を披露してくれました。退場時には、校歌を歌ってくれました。始まる前は「緊張してる。心臓がバクバクする」「緊張して、目をつむっていたい」「緊張してきた！」と言っていた三年生ですが、大きな達成感、自信を手にしたことと思います。



二校時、児童集会は「兄弟学級で遊ぶ」時間です。4、5、6年生は、この日のために「遊ぶ内容」や「進め方」を決め、必要な物作りなどの準備を進めていました。ペアでの自己紹介を終えると、遊びが始まりました。なんでもバスケット、宝探し、ジェスチャーゲーム、絵しりとり、なぞなぞなどなど、楽しい遊びが繰り広げられていました。ある五年生の子が私に、こんなことを言ってきました。



「校長先生、二年生の子、ちょーかわいいです!」。素敵な時間でした。

四年生の子が黒板に貼ってある国語の作品を見ていました。すでに完成させたクラスメイトの子のものだと見て見ると、このクラスにはいない子の名前が書いてあります。しばらくして、この作品の作者は五年生の子たちだ



と分かりました。昨年作り上げた物を、先生が持っていたようです。昨年度の四年生（現五年生）、先輩の作品を見て「見習おう！」「これ以上のものを作り上げよう」と、後輩は燃えていました。

6月11日（火）札・見守り・ファンタジー

昨日、今日と、いろんな子からお礼を言われます。わんぱく相撲のことです。「応援してくれたこと」「賞状をくれたこと」について、お礼を言ってくれるのです。外国語の時間では、誰かとジャンケンをしてカードの取引をしていました。数人が私の所へ来てジャンケン勝負を挑んできましたが、その中に、お礼を言いに来た子もいました。扇っ子の義理堅さを感じています。

登校時、毎日のように最後の通学班と一緒に学校まで来てくれる見守り隊の方がいます。「最後の班です」と教えてくれます。今日もいつもと同じように「最後の班です」と門まで送ってくれました。一年生もそのありがたみが分かってきたようで、何度もお礼やお別れをしていました。そして、何度も手でタッチをしていました。地域の温かさを感じる貴重な体験をしています。

六年生の図工「ゆらめきファンタジーワールド」が完成に近づいています。この日は、いろんな色、光を見せてもらいました。光の色が変わっていく様もを見せてもらえました。苦心して創り出したきれいな色もあります。工夫してあみ出した光の模様もあります。六年生が「見て」「見て」と作品を持ってくることは、あまりありません。かなりの達成感や興奮があるのだと想像しました。

6月10日（月）ゴミ・屑くんで・作品

四年生がクリーンセンターに学習に行きました。ゴミの処理についていろいろと学びました。「市では処理できないゴミがあること」「カンをつぶすのにもの凄い力が必



要なこと」「小さなテレビは一つ一つハンマーで壊すこと」など、ここで学んだことを教えてくださいました。写真は、ゴミの処理（燃えるゴミ）をクレーンが行っている所を見ている姿です。この場所が一番子供の目が輝きます。ゴミが処理されている迫力ある場面を実際に見られるからです。

体育館で走っているおうぎ学級の子を見ている時に、とっても素敵な場面を見ました。数周走った状況で、ある子が前を走っている子を追い抜かんとする勢いで走ってきました。そのまま追い抜くと思いきや、肩をポンとたたいて「がんばれ」と声をかけました。そして、抜いた子の前を伴走するかのよう、次の一周を走りました。完全に追い抜かれたであろう子も、励まされたからか息を吹き返すような走りを見せていました。この二人、二周ほど並走していました。二人とも笑顔で走っていました。

図工の時間、先生が子供たちの作品をテレビ画面で紹介していました。「〇〇さんの作品は、棒を十字にしている」「〇〇さんの作品は、裏の模様もきれい」「〇〇さんの作品は、穴をギザギザで切ってる」などなど。あるこの作品が映し出されたときには「すっげー」という声も上がりました。ある子は作品を動画で提出していたようで、作品の動きも見ることができました。



6月 9日（日）わんぱく相撲

第30回わんぱく相撲入間大会が行われました。扇小学校からも30人近くのわんぱく力士が出場しました。団体、個人でたくさんのメダルをもらう大活躍。結果、総合3位のカップをいただきました。8時40分に開会式が始まり、閉会式が終わったのは15時30分過ぎ。低学年の子は特に疲れたと思います。しかし疲れを大きく上回る経験をし、豊かな気持ちになり、素敵な思い出になったことは間違いありません。どうも。



6月 8日（土）開校記念日

本日が、扇小学校50回目の開校記念日です。それを記念して、扇小学校検定を作りました。卒業アルバムを頼りに、昔を振り返ってもらおうという願いです。次のような問題を作りました。

- ・扇小学校を卒業した人数は？
- ・扇小学校の校章は、何をデザインしたものか？
- ・村越校長は、何代目の校長か？
- ・初代卒業生が、卒業記念に学校に贈ったものは？
- ・令和6年度、学期に一回行っていた検査とは？



6月 7日（金）航空・読み聞かせ・測定

開校50周年を記念して、航空写真を撮りました。事前にどのクラスがどの位置に立つかは決めてあり、全校の子が、指定された色のコートを着て、指定された位置に立てば撮影開始です。昔のように飛行機が飛ぶわけではありません。ドローンですからすぐに終わります。周年記念シンボルを作った隊形と、全員の顔を映すための隊形で、2枚の写真を撮ってもらいました。前回の延期後に決められた本日。開校記念日の前日に撮影ができたことに、不思議な縁を感じました。

子供たちが楽しみにしている読み聞かせ。一年生は特に楽しみにしています。始まると目を輝かせ、顔も体も前かがりになって聴いています。この日、一年生で読んでもらった本は『ニンジンとゴボウとダイコン』『うしはどこでもモー！』『たんぽぽ』『水たまレンズ』です。あるクラスで「白いタンポポもある」という話が出ると、「えー！？」という驚きの声とともに「知ってるよ」という自慢げな声が出ました。子供の心が動く瞬間は両方の反応があるものなのです。

先日は二年生が30cmものさしで長さを測っていましたが、本日は三年生が1mものさしを持って、長さを測って



いました。掲示板やドア、廊下、手すり、階段などを測っていました。さすが三年生と思ったのは、廊下の幅を図っていたグループを見たときである。ある子が「1mじゃ測れないよ」と忠告したので、活動が終わるかと思いました。すると一人が他のグループからものさしを借りてきました。「1mものさし2本なら測れる」と思ったようです。ちなみに本校の廊下の幅の長さは、先日二年生が測った大谷選手の身長とほぼ同じでした。



6月 6日（木）温度・鑑賞・野菜

四年生の理科で面白い問題が出ました。「 25°C と 69°C を合わせると、何度になるか」。いろんな予想が出ました。私が見つけたノートの記述では、 18°C 、 33°C 、 35°C 、 40°C 、 44°C 、 94°C などなどがありました。一番多かったのは 40°C 付近です。 18°C と考えた理由は分かりませんでしたが、 95°C と考えた理由は想像ができます。 $25+69$ をしたのです。「合わせると」だから、算数の世界ではたし算。理科の世界ではこの計算通りいくのでしょうか。



一年生が友達の絵を鑑賞していました。お気に入りの作品を見つけていたようです。ある子の絵がとても人気がありました。たくさんの子が「この絵がかわいい」と教えてくれました。作品の中にある描いた子の手形がかわいいというのです。「〇〇さんの手、とってもかわいい」「〇〇さんの手が、かわいいから好き」などと、作品を選んだ理由を聞かせてくれました。



登校時に、本校の畑のナスが育っていることに気づきました。登校してきた子にも「ナス大きくなってるよ」と話すと、反応してくれました。見るだけでなく、「ナス大好き」という話をしてくれました。さらに「校長先生は、ピーマン好き？」と聞いてきました。「もちろん大好き」と返すと、近くにいた数人の反応が分されました。「えーっ??」と「私も!!」です。



6月 5日（水）自慢・泥玉・着地

本日の講話朝会では、開校記念日にちなんだ話をしました。放送にて行いました。「50年目の扇小学校で働けることを幸せに思います」と話し、「扇小学校の自慢、自慢にしていきたいことをクラスで学び合ってください」と指示をしました。ある一年生のクラスに入っていくと、「廊下の右側を歩いている」「すぐ静かになる」「アサガオがきれい」「外でたくさん遊べる」「人が話しているときには話さない」などの発表がありました。たくさんの自慢を作り、磨いていきたい50年目の開校記念日です。

あるクラスが、泥遊びをしていました。昨日の雨で柔らかくなっている所に加え、バケツで水を何度も運んで泥遊びの環境を自分たちで作りながら遊びました。大きな山、流れる川、深い穴、そして泥玉。今も昔も変わらないモノを見ると、嬉しくなります。この日も、固めた泥玉がいくつも並びました。小さな手でめいいっぱい大きく作ったことが予想されます。すぐになくなってしまうのですが、この瞬間の子供にとっては宝物のような作品に違いありません。

一年生が鉄棒をしていました。張り切って活動しますから、鉄棒に上るのも、回るのも、降りるのも張り切ります。つまり速く終えようとしします。降りるのがあまりに速いと思ったのか、先生が見本を見せました。ゆっくりと回転して降りる方が上手なこと。上手に回って降りると足の音がしないことを伝えました。それから子供たちの降り技が格段と上手になりました。意識のポイントが変わったからです。

6月 4日（火）体積・誕生日・長さ

四年生の理科では、「水が入った容器にホッチキスの芯を入れると水かさは増すか」という問題を考えていました。それぞれが予想し、意見を交換した後に、先生が演示



して確認しました。ほとんどの子は、TV画面に映し出された様子を見て「**水面が上がった**」ことを理解しましたが数人は「変わってない」と言い張っていました。納得できない子の一人がTV画面上の水面に指を置いてから、芯を入れると、「あー、ホントだ**増えた！**」と**驚き**に変わりました。

五年生が**英語**で会話をしていました。「誕生日に**何がほしいか**」と聞かれて、欲しいものを言うのです。前に出た二人は英語で話しているのですが、正直よく分かりませんでした。英語だからです。後で、日本語で書いた**ワーク**を見せてもらって理解しました。「**ナナコカード**」「**スイッチ**」「**ケチャップ**」「**メロン**」「**ネコ**」「**高価な家**」と応えていたのです。

二年生の算数では、**大谷選手**の身長を調べる活動がありました。大谷選手の身長と同じ長さの**白テープ**と、30cmの青テープを使ってグループごとに学び合いました。まずは、白テープを真っ直ぐにします。次に、青テープで**いくつ分か**を調べます。はしたの部分を、**ものさし**で調べます。文字にすると簡単ですが、子供たちにとってはとっても高次の活動です。「**192cm**」という解決結果を導き出したグループがいて、驚きました。



6月 3日（月）転入生・タグ・お皿

二年生と三年生に新しい仲間が入ってきました。朝の教室では、たくさんの子が**集まっ**ていました。隣のクラスから**覗い**ている子もいます。転入生には、ほとんどの子が関心を示すのです。**保育園**が一緒だった子は「いやー、久しぶり！」などと手を挙げてあいさつしていました。両方のクラスで、**自己紹介**をする時間が作られました。三年生では「〇〇です。〇月〇日生まれです。好きな〇〇は、〇〇です。よろしくお願いします」の自己紹介が、なかなか進まない、楽しい時間が続いていた。



六年生が家庭科の時間にネームタグを作っていました。

裏に**キャラクター**や好きなスポーツ**選手**の名前を縫ったり、動物に仕上げたり、とても楽しそうに作成していました。女子の作品の方が、**凝った**傾向があるようでした。名前に使うローマ字にも工夫をしている子もいました。ちょっとしたマークを入れたり、字に変化をつけたりして。

ある学年の図工では、**紙のお皿**を使う子がたくさんいました。自分で持ってきたものです。お皿（紙だから）があると頭に乘せて「**カップ**」をしたくなるのは、昔も今も変わらないようです。こういう、自分が子供だった時と**同じ姿**を見ると、嬉しくなってしまいます。この時間、「**カップ**」をした子は少なくとも四人いました。



6月 2日（日）狭山茶

六月第一日曜日は「狭山茶の日」です。アリットにてイベントがあること、茶娘として扇小の子が活動していることを、本校の子に聞いていたので、参加しました。たいへん盛況で、車を止めるのに 40 分近くかかりました。扇の茶娘にも、**おいしいお茶**を入れていただきました。

この日は写真展も行われていました。入間市内で撮った素敵な**写真**が数々展示されていました。「ぜひ子供たちに見せてあげたい」「入間市のすばらしさを語ってほしい」と、サークル代表の方をお願いしてきました。



6月 1日（土）研修

埼玉大学附属小学校で、埼玉県算数研究会がありました。本年度第一回目。県内からたくさんの先生が集まりともに学びました。講話、講演を聞いて、**学習**の系統性を大事にすること、子どもの**活動**を大事にすることを改めて感じました。どの学年の、どの内容も、大事に大事に指導しなくてはならないと思いました。

